

2007 年 6 月 13 日

各 位

株式会社みずほ銀行

フィッシング詐欺対策の強化について

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山清次）は、フィッシング詐欺によるインターネット犯罪が増加傾向にあることを踏まえ、RSA セキュリティ株式会社が提供する「RSA FraudAction（アールエスエー・フロードアクション）」を導入し、フィッシング詐欺対策を強化します。本サービスの導入により、みずほ銀行は、世界中の国々で立ち上げられるフィッシングサイトを短時間で閉鎖できる体制を構築することとなります。本サービスの導入は、国内ではみずほ銀行が初めてとなります。

最近、日本においても増加傾向にあるフィッシング詐欺は、金融機関などの偽のサイトを媒介として不正に個人情報収集し、収集した個人情報により「インターネットバンキング不正取引」、「クレジットカード詐欺」、「貸します詐欺」、「架空請求詐欺」などの金融犯罪に悪用する手口です。みずほ銀行では、これまでも預金者向けの注意喚起の徹底や、情報を詐取される前の早期のフィッシングサイトの閉鎖に努めてきましたが、フィッシングサイトは海外で立ち上げられることも多く、24 時間 365 日・グローバルベースでの対応を実現することなど、更なる体制の強化が課題でした。

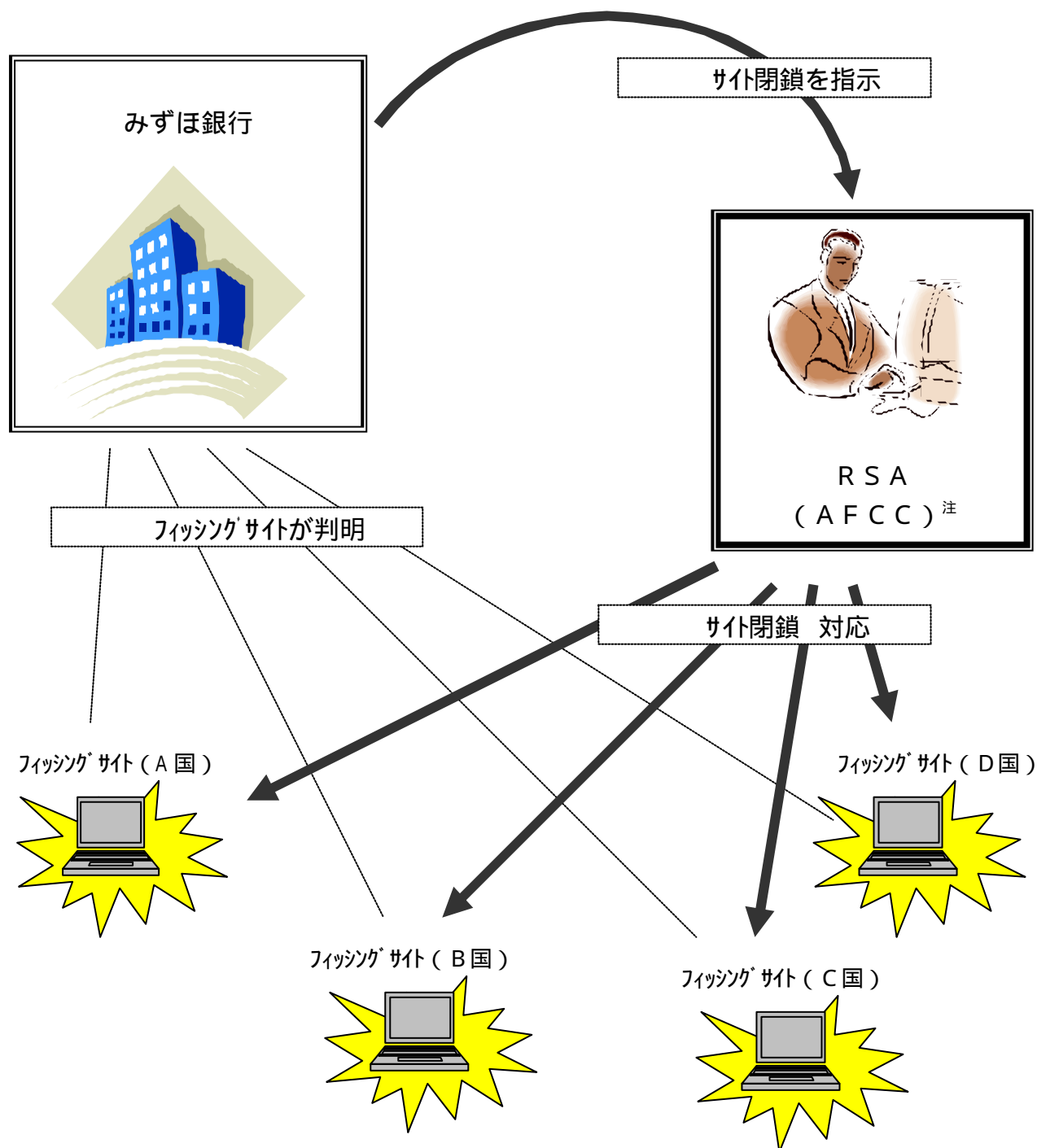
今回、みずほ銀行が導入した「RSA FraudAction」は、欧米においては金融機関をはじめとする 200 社以上でフィッシング詐欺対策として幅広く採用されているサービスであり、本サービスの導入により、みずほ銀行は、24 時間 365 日体制で世界中の国々で立ち上げられるフィッシングサイトを短時間で強制的に閉鎖することが可能となります。

「RSA FraudAction」は、大半のケースにおいて、不正サイトを 5 時間以内に閉鎖可能

みずほ銀行では、今後とも、フィッシング詐欺対策を含めた一層のセキュリティ向上と利便性の確保に取り組んでまいります。

以上

「RSA FraudAction」について



注 :AFCC (RSA Anti-Fraud Command Center、オンライン不正対策指令センター)
24 時間 365 日体制で不正サイトの閉鎖をおこなうセンター
複数言語を駆使し、世界中の国々で立ち上げられるフィッシングサイトに対応可能